

自分たちのまちは

自分たちで守る

— 北広島市消防団 —

消火活動や救命活動などで、まちを守るのは消防職員だけではありません。消防団員も、地域に密着した消防・防災のリーダーとして重要な役割を果たしています。

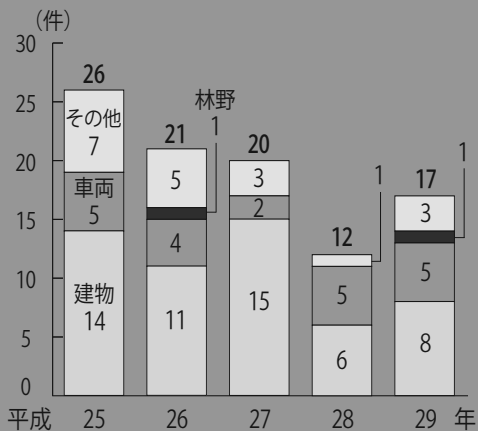
市では、災害に対応するため消防署（常備消防）と、市内4つの地域にある消防団（非常備消防）で、消防の体制を確立しています。

消防団員は消防職員と異なり、会社員や自営業など、それぞれの仕事をしながら、いざという時のための訓練や研修に励んでいます。また、管轄区域内に住んでいるか働いていることから、地域の実情に詳しいことも強みの一つです。

問合せ 消防本部総務課
(☎373-3100)

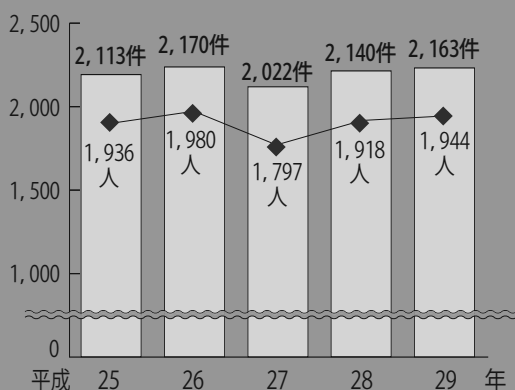
北広島の火災・救急

■火災発生件数の推移

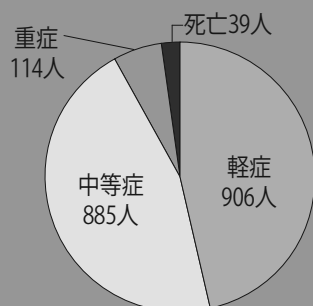


昨年は火災による死者はなく、負傷者が2人発生しています。火災発生の原因としては、こんろやストーブなどからの出火が挙げられます。

■救急出動件数と搬送人数の推移



■程度別の搬送人数（平成29年）



救急出動で病院へ搬送した中で、入院の必要がない軽症者が約半数を占めています。中には、タクシー代わりに救急車を利用する例も見られました。不適正な利用が増えると、本当に救急車が必要な場合に影響が出るかもしれません。適正な利用をお願いします。

平成29年の火災発生件数は17件、救急出動件数は2163件で、28年と比べて火災は5件、救急出動は23件増加しました。市内各地で起こる災害に対応するためには、消防職員はもちろん、消防団員の存在が必要不可欠です。

北広島の消防団員は現在114人。平常時・非常時を問わず地域に密着し、献身的な活動が続ける消防団を紹介します。



市内の消防団による合同訓練。火元付近までホースを運ぶ様子

消防団って何？

消防組織法に基づき、市町村ごとに設置される消防機関です。全国に約2200の消防団があり、消防団員数は消防職員数の約5倍。災害発生時に高い要員動員力を発揮します。また、訓練で災害対応の技術や知識を習得しているため、災害発生時は即時に対応することができます。

消防団員ってどんな人？

「自分たちのまちは自分たちで守る」という郷土愛護の精神に基づき、地域の消防・防災のリーダーとして住民の安心と安全を守るために活動しています。消防職員は地方公務員のため兼職できませんが、消防団にはサラリーマンや主婦、学生などさまざまな方が所属しています。

どんな活動をしているの？

市街地では消防職員が中心となって消火活動などを行い、消防団員はそれを支援する形で役割を分担しています。しかし、消防団員が消防職員より早く現場に到着したときには、消防団員が中心となって活動することもあります。

災害発生時以外は、訓練や応急手当の普及指導、住宅への防火指導などを行っています。

消防団員になりませんか

市の消防団員の定数は120人で、現在6人の欠員があります。まちを守るため、消防団員として活動してみませんか。

市内にお住まいの18歳以上で、興味があるか入団を希望する方は、消防本部総務課（☎373-3100）に連絡してください。

第4分団の車両を更新しました

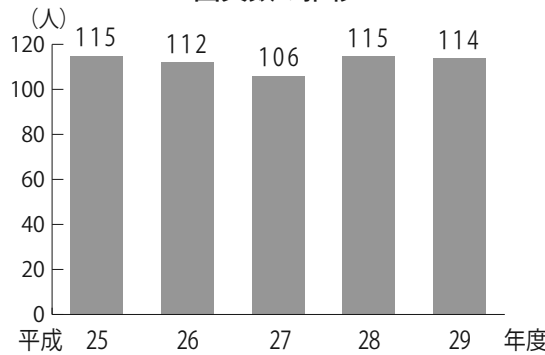
昨年12月、西の里地区を管轄する第4分団の小型動力ポンプ付積載車を更新しました。新たな車両では、オートマチック四輪駆動を採用。救助活動用の資機材を装備し、幅広い災害活動に対応します。



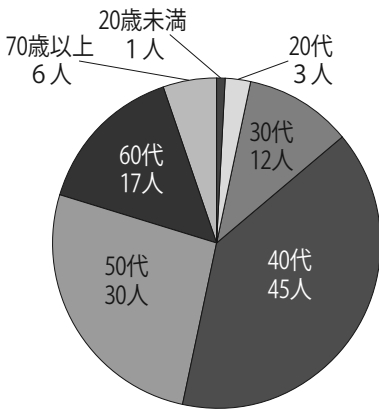
データで見る！ 北広島の消防団



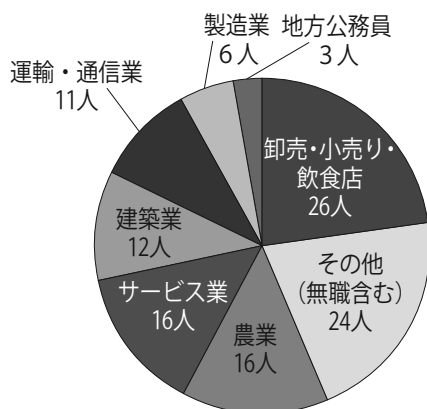
団員数の推移



団員の年齢構成（平成29年度）



団員の職業構成（平成29年度）

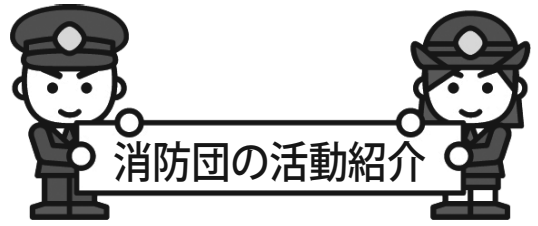


防火委員も活躍中！

昭和59年に設立した市防火委員会は、市民に防火思想の普及活動を行う団体です。市内8つの保育園や幼稚園が参加する幼年消防クラブと、地域の女性が有志で参加する婦人防火クラブで構成されています。

防火に関する周知活動の一環として、火災への注意を呼びかけながらまちを歩く防火パレードや街頭での啓発活動、福祉施設への防火訪問などを行い、火災予防を推進するために活動しています。





2



3



5



4



6

① 1月6日の出初式には消防職員や消防団員145人が参加 ②③毎年一度、市内4つの分団が集まり、合同訓練を実施 ④火災発生時や行方不明者の搜索時は、消防団員も現場に駆け付けます ⑤グループホームで消防訓練を実施。車いすの方も安全に避難できるよう手助けします ⑥保育園で防災に関する紙芝居を披露

消防団員インタビュー



第2分団・入団1年目



農家
遠田章裕さん



新聞配達員
福田梢さん



第4分団・入団3年目

【入団のきっかけは？】

新規就農した時に地域へ貢献したいと考えていたところ、先輩農家から誘われて入団しました。分団長に誘われて入団しました。仕事や家庭と両立させるため、無理のない範囲で活動しています。

【入団して良かったことは？】

人間関係が広がったことです。団員の方には活動以外でもお世話になっています。ロープの結び方などは仕事や私生活でも役立っています。機械の操作など難しいこともありますが、水防訓練や林野火災の訓練など、団員だからこそできる経験がたくさんあり、入団して良かったと思います。

【市民の皆さんにメッセージ】

入団することで、地域や身近な人を守ることができます。異なる年齢や性別、職業の方が活躍しています。興味がある方はぜひ問い合わせてください。まだまだ未熟で分からないことが多いのですが、消防団での経験がマイナスになることはないと思います。入団してみませんか。一緒に頑張りましょう。